



平成28年4月22日10時00分
国土交通省中部地方整備局
応援対策本部

「平成28年熊本地震」への中部地方整備局の対応（第7報） ～TEC-FORCEの**応急危険度判定士**を派遣（出発式）～

- 中部地方整備局は、熊本県熊本地方を震源とする地震災害を支援するため、4月16日より TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣しています。
- 今般、被災した建築物を調査し、余震などによる倒壊の危険性などの判定（応急危険度判定）を実施するため、資格を有する職員を TEC-FORCE 建築物判定班として追加派遣します。
- TEC-FORCE 活動記録や対応状況等をホームページに掲載しております。

1. 出発式の開催

開催場所 中部地方整備局 玄関前
名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 名古屋合同庁舎第2号館
開催日時 4月22日（金） 14時00分

2. 活動場所 熊本県内を予定



【東日本大震災における応急危険度判定士の活動状況（東北地方整備局）】

【中部地方整備局からの派遣状況】

○ TEC-FORCE（32名+3名）合計35名

総括班	1班5名（本局）
道路調査班	2班8名（愛知国道事務所・名古屋国道事務所・北勢国道事務所・ 沼津河川国道事務所・静岡国道事務所・浜松河川国道事務所・ 紀勢国道事務所・飯田国道事務所）
砂防調査班	2班8名（本局・多治見砂防国道事務所・越美山系砂防事務所）
河川調査班	1班4名（本局）
応急対策班	1班3名（中部技術事務所）
情報通信班	2班 <u>4名</u> （本局・ <u>木曾川上流河川事務所</u> ）
建築物判定班	1班3名（本局）

○災害対策車両 合計 6 台

待機支援車 2 台（中部技術事務所・木曽川下流河川事務所）
無人バックホウ 2 台（中部技術事務所）
衛星通信車 2 台（中部技術事務所・沼津河川国道事務所）

※下線は第 6 報からの変更箇所

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局

応援対策本部 広報担当 052-953-8256

【応急危険度判定】

応急危険度判定は、地震後の余震等による二次災害を未然に防止するため、被災した建築物の状況を調査し、その建築物が使用できるか否かの判定・表示を応急的に行うことです。調査結果は「危険」（赤紙）、「要注意」（黄紙）、「調査済」（緑紙）の三種類の判定ステッカーのいずれかにより、見やすい場所に表示します。



【応急危険度判定士】

応急危険度判定士は、被災地において、地元市区町村または都道府県知事の要請により応急危険度判定を行う建築技術者です。都道府県知事が行う講習会等を受講して認定登録を受けています。